

夕刊 新 城 報

行日九十二月一十 刊日翌日祭曜日 文部省登録第... 社団法人新報社

爐邊雜筆 (1)

島田忠夫

〇唄はれる童謡詩 十一月三十日、丸の内にて、高久病院にも廻つて来た...

新 城 歌 壇

新妻久満男 選

安部正義氏が、今回自ら作曲して、自ら唄ふ曲目は四つある。その中の二つは私の著作である詩である。

現代歌謡詩 人の行くべき道と新分野

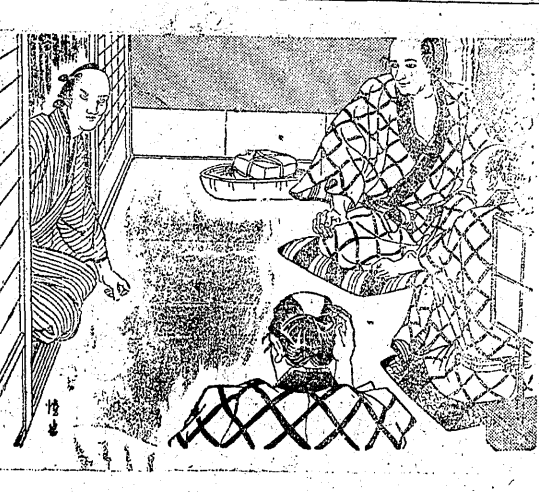
中山輝

山村の不具の娘と漁村の貧しい青年との愛情を二十行足らずでまとめて發表したことがあるが、この活字ス、ユーモア、等々、素朴詩人は、この暇を利用して、單なる、皮相的な、感傷民謡は、恥づかしながら素で平明で然る暗示深く歌謡新しい分野の開拓に努力して

枯柳 席上互選... 織田信雄... 大家傾倒終不和... 暮の間に青き葉かげに...

潮聲 初時雨 席上互選... 紅い雲をついでば鳥や... 何鳥か大袈に鳴く初時雨

黄金魔 高桑義生作... 桶口悦也書... 雁の旅 (七)



な知つてゐる... 「あ、コリや親分だつたのかつお見を...」

季節向御料理 毎度格別なる御最眞に預り難有御禮を申し上げます。 割烹 住吉屋本店 電話一五九番

開 院 五十嵐 婦人科醫院 醫學博士 五十嵐雄二 電話三七〇番... 吸入用酸素 純度99%... 冬服特賣... 正札堂洋服店... 吉田眼科病院

